

復興天守閣に関する事例 ー小田原城天守閣ー

1. 活用事例

i) 天守閣解体から復興天守閣完成までの経緯

明治3年(1870) ～明治4年(1871)	老朽化が進んでいた天守閣および、二の丸・三の丸の櫓(計5棟)が解体撤去される。
明治26年(1893)	天守台に大久保神社が建立される。
明治33年(1900)	大久保神社が城外へ移転し、再び天守台のみとなる。
大正12年(1923)	関東大地震で、天守台や堀の石垣、二の丸平櫓が倒壊する。
昭和8年(1933)	小田原振興会が設立する。 ※振興会は城址の一大遊園地化および、天守閣の再建を目指していた。
昭和11年(1936)	天守台に城址公園の案内板が設置される。
昭和13年(1938)	城址(本丸を除く。)が国の史跡に指定される。指定を記念して、天守台に標柱が設置される。
昭和15年(1940)	振興会が天守閣復興運動を提唱する。
昭和25年(1950) ～昭和28年(1953)	天守台石垣の再築工事が実施される。
昭和30年(1955)	天守台に観覧車が設置される。
昭和31年(1956)	小田原城天守閣復興促進会が設立する。 ※促進会は天守閣の建設準備を行った。
昭和33年(1958)	国からの起債が決定し、天守閣の建設が正式に決定される。
昭和34年(1959)	城址(本丸)が追加指定される。 天守閣復興工事が行われる。
昭和35年(1960)	鉄筋コンクリート造の復興天守閣が完成する。

※耐震改修の経緯(平成21年以降)についてはp.7に記載。

ii) 復興天守閣活用の経緯

開館当初の復興天守閣は地元小田原・箱根地域の観光や物産を紹介する観光物産施設と、小田原城を中心とした郷土の歴史文化を紹介する文化教育施設の性格を併せ持つ施設として活用されていた。

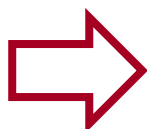
高度経済成長期に入り、内部の展示について不評も多く、来訪者が減少し始めたことから、CM・広告塔や特別展の開催回数を増やすなどの対策が講じられた。常設展については、恒常的な入場を実現すべきとし、1階から3階において根本的な常設展示の改修が行われた。

平成27年(2015)から平成28年(2016)に耐震補強に伴う改修が行われ、天守閣内の展示もリニューアルされた。耐震改修後は、「歴史観光の拠点として小田原城を中心に、小田原の歴史的魅力を発信する」という基本方針のもと、小田原城と小田原北条氏を中心に最新の研究に裏打ちされた展示を行っている。展示グラフィックや展示説明などの製作には、小田原市の各部署に配置されている学芸員が組織横断的に参画している。

リニューアルオープンについては、ロゴマーク・キャッチコピーの制定やポスターの掲示、リニューアルオープン式典、ブライダル業界との共催など、様々なPR事業とマスコミでの露出が行われ、来訪者の増加および、小田原市への観光客数の増加に繋がっている。

<開館当初> 観光物産+歴史文化中心

4F	市域パノラマ模型 電話機型音声ガイド
中4F	天守閣復興工事記録写真 全国城郭写真
3F	郷土史料
2F	小田原城関係資料
1F	郷土物産・産業

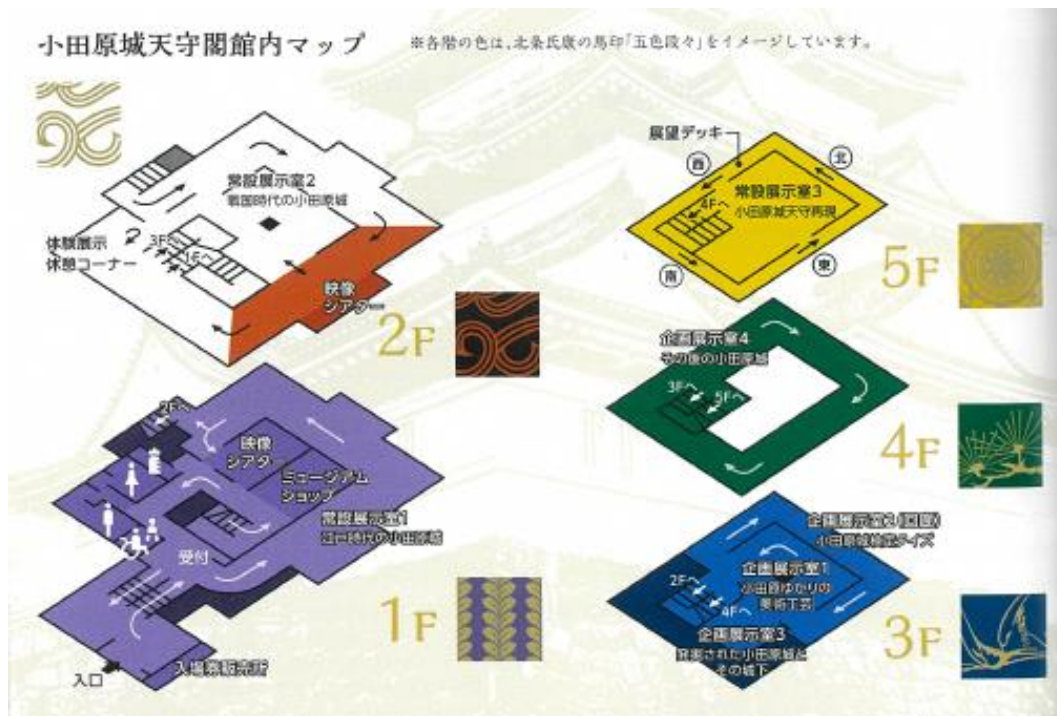


<耐震改修後> 歴史文化中心

5F	摩利支天安置空間再現
4F	明治以降の小田原城
3F	小田原城跡発掘調査成果
2F	戦国時代の小田原城
1F	江戸時代の小田原城

iii) 耐震改修後の展示テーマと内容・方法

耐震改修に伴い従来の展示が不可能になったため、実物展示に加え、壁を活用したグラフィックやパネルによる展示も採用し、スペースを有効活用している。さらに、映像演出や復元模型など、直感的で誰にでもわかりやすい展示手法を用いている。展示内容については、各階にテーマを定めて情報発信を行っている。



天守閣館内マップ (『小田原城天守閣展示案内』より)

■展示テーマと内容 ※括弧内は展示内容

1 階：江戸時代の小田原城

▼江戸時代末期を基準に史跡整備を進めている史跡小田原城跡から天守閣への導入をスムーズにし、来訪者に一番知ってほしい情報を1階で展示している。

2 階：戦国時代の小田原城

▼2階に上ることで時代を遡る動線とし、有名な北条氏時代の小田原城に関する展示を行っている。

2～3 階：小田原北条氏と文化の形状、小田原ゆかりの美術工芸

3 階：発掘された小田原城とその城下 (小田原城跡発掘調査成果)

4 階：その後の小田原城 (明治以降の小田原城)

5 階：小田原城天守再現 (摩利支天安置空間再現)

その他…映像シアター (1 階：「よみがえる小田原城」、「北条五代百年の夢」、2 階：

「小田原合戦」、5 階：「小田原の木・人・技で蘇る摩利支天安置空間」)、物産コーナー、観光案内コーナー

■ 展示方法

実物資料の展示以外にも以下のような展示方法が用いられている。



①壁に直接グラフィックを落とし込んだ展示



②パネル展示

③垂れ幕による展示



④床面を利用した展示



⑤映像による展示

iv) 城址公園内施設の活用方法

城址公園内施設	機能等活用方法
天守閣 (2016年リニューアル)	主に小田原城に関わる展示 【入館料】 (個人) 一般 510 円、小中学生 200 円 (30人以上の団体) 一般 410 円、小中学生 160 円
ミュージアムショップ ※天守閣内	小田原の名産品や天守閣図録等の販売 ※ミュージアムショップのみの入場には、天守閣の入館料が必要となる
常盤木門 (常盤木門 SAMURAI 館は 2016 年リニューアル) ※本丸の正門にあたる	1 階：甲冑着付け体験 …甲冑・打掛・忍者衣装の貸出 【利用料金】 中学生以上 500 円、小学生以下 300 円 2 階：常盤木門 SAMURAI 館 …甲冑や刀剣など武具の展示、武士の世界観を映すプロジェクションマッピング 【入館料】 (個人) 一般 200 円、小中学生 60 円 (30人以上の団体) 一般 160 円、小中学生 40 円
小田原城歴史見聞館 NINJA 館 (2019年リニューアル) ※旧城内小学校講堂	風魔忍者をモチーフに据え、触れるアイテムやデジタル技術を活用した参加・体験型の展示 【入館料】 一般 310 円、小中学生 100 円
銅門 ※二の丸の正門にあたる	毎週土・日曜日および祝日に内部の特別公開 ※観覧料無料
その他…子ども遊園地、二の丸観光案内所、お食事処本丸茶屋、本丸売店	

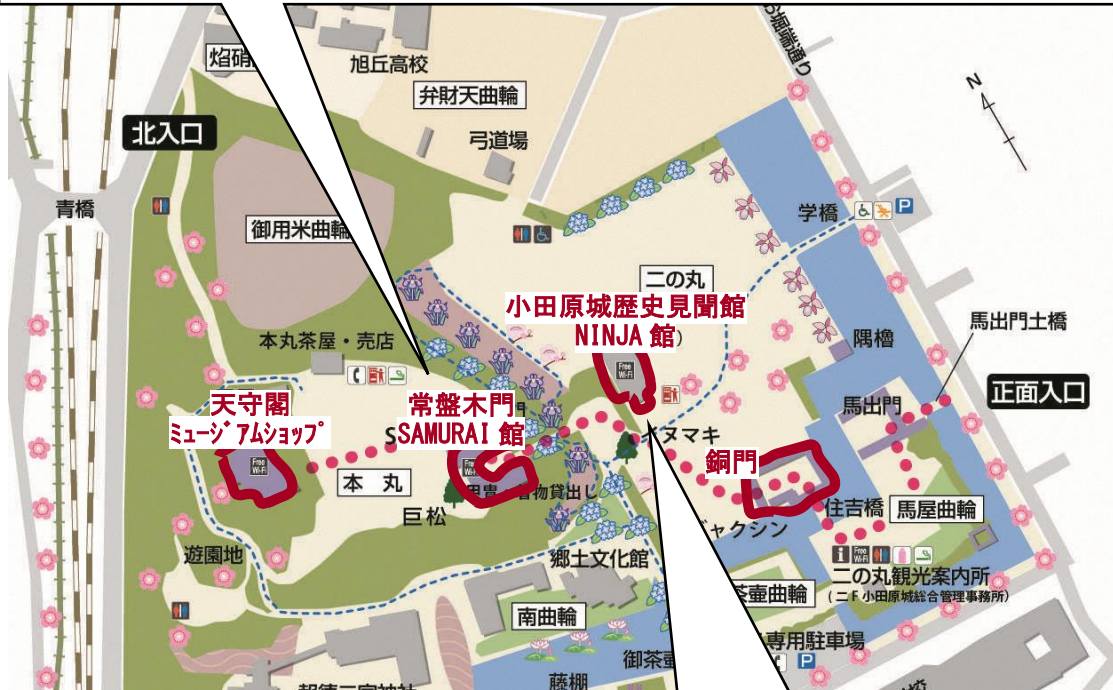
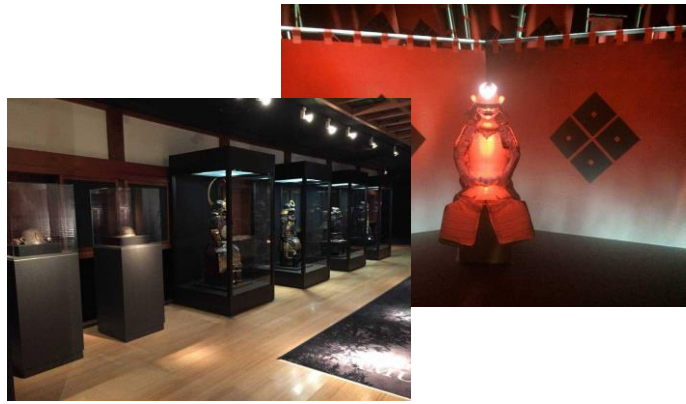
※【その他入館料】

- ・天守閣・常盤木門 SAMURAI 館共通券 (個人) 一般 610 円、小中学生 220 円
 (30人以上の団体) 一般 500 円、小中学生 180 円
- ・障がい者手帳 (ミライロ ID も可) 持参・提示で無料 (付添 1 名含む)
- ・小田原市が発行する「福寿カード」持参・提示で無料 (付添 1 名含む)

甲冑着付け体験



常盤木門 SAMURAI 館展示



小田原城歴史見聞館 NINJA 館展示

城址公園内マップ (小田原城公式 HP より)

v) 城址公園内でのイベント

イベント名	時期	内容
小田原梅まつり	2月 ～3月上旬	期間中は流鏝馬や郷土芸能の小田原ちょうちん踊り、寿獅子舞、書の舞などが行われる。
小田原かまぼこ 桜まつり	3月下旬	かまぼこ名人による手づくり実演、ききかま大会、かまぼこ板積み競争「かまぼこ板一夜城合戦」、このまつりだけの限定品販売などが行われる。
小田原桜まつり	3月下旬 ～4月上旬	小田原城址公園を中心に、市内各所で開催される。
小田原北條五代 祭り	5月3日	総勢約1,800名の武者隊・音楽隊・まち衆隊の大パレードが市内を練り歩く。
小田原城あじさい 花菖蒲まつり	6月	小田原城東堀にある花菖蒲園のあじさいと花菖蒲の開花に合わせて開催される。出店のほか、夜はライトアップの演出が行われる。
小田原ちょうちん 夏まつり	7月下旬	小田原ちょうちんをシンボルとしたイベント。小田原城址公園を中心に、御輿が練り歩き、特設ステージでは、北條太鼓や小田原囃子の演奏などが行われる。会場周辺には市内の小学生が製作したちょうちんが飾られる。
小田原城菊花展	11月3日 ～中旬	小田原城を小菊で飾る総合花壇や、小田原清香会の会員や小学生たちが育てた約700鉢の懸崖・盆栽・大輪の花などを展示する。
小田原市農業 まつり	11月下旬	地域で生産された農作物の即売会のほか、ふるさとの味の模擬店や乳牛の展示、牛乳の無料配布、もちつき体験、十郎梅干しの種飛ばし大会が行われる。

■天守閣特別展

天守閣では常設展とならび、昭和35年（1960）から令和2年（2020）に至るまで、合計208本の特別展が開催されている。

武具・刀剣などの工芸、北条氏ら歴代城主や城郭と関わる歴史をテーマとした内容が主体となるが、伝統工芸や漁業などの地場産業に関わる民俗、版画など美術の分野も対象とした内容のものもある。また、定例的なものとして昭和41年（1966）から開催している新春恒例の「新年の書といけばな」展が54回、昭和57年（1982）から毎回テーマを替えて開催する「小田原城紋章展」は34回を数える。（2020年時点）

令和3年（2021）12月18日からは、「没後450年 北条氏康伝」というタイトルで、北条氏康に関する特別展が開かれている。

vi) 管理・運営体制

◇文化財課

- ・史跡指定地全体の保存・管理・整備

◇小田原城総合管理事務所

- ・小田原城址公園（本丸・二の丸周辺）の日常管理
- ・馬出門・銅門など小田原城址公園に所在する施設の日常管理・運営
- ・小田原城天守閣・常盤木門 SAMURAI 館など公有地施設の運営

◇一般社団法人小田原市観光協会（指定者管理制度）

- ・小田原城天守閣、常盤木門 SAMURAI 館、小田原城歴史見聞館 NINJA 館の管理

◇経済部観光課

- ・小田原北條五代祭りなど小田原城址公園で行われる各種観光イベントの管理・運営

2. 耐震改修事例

i) 耐震改修工事の経緯

昭和 35 年（1960）に復興天守閣が建設されてから 55 年が経過し（2015 年時点）、耐震性に問題が生じたため、平成 27 年（2015）から平成 28 年（2016）にかけて耐震改修工事が実施された。

平成元年（1989）	耐震診断が行われる。
平成 21 年（2009）	「小田原市耐震改修促進計画」が策定される。
平成 23 年（2011）	小田原城天守閣耐震改修等検討委員会が設置され、耐震改修の方向性と木造再建の可能性について検討される。木造再建にはさらなる資料収集と研究が必要であったため、早期に耐震補強を行う方向性が示される。
平成 24 年（2012）	耐震診断と基本計画策定が行われ、全面的な展示を含む改修計画が検討される。
平成 25 年（2013）	基本設計が行われる。
平成 26 年（2014）	実施設計が行われる。
平成 27 年（2015）	7 月から耐震改修工事が開始される。
平成 28 年（2016）	4 月末に耐震改修工事が竣工する。

ii) 耐震改修方法

耐震補強は、史跡であることから遺構や外観に影響が出ないことに加え、工事期間や経費、展示スペースの確保などの点から、耐震ブロックによる耐震壁の設置が採用された。耐震ブロック工法は、事前に成形されたコンクリート部材を建設現場で組み立てて壁を作る工法を用いた、いわゆる強度型の工法である。

また、耐震診断実施時に耐震診断の指標である I_s 値が 0.3 を切っている箇所があったため、正式な耐震補強工事の前に、緊急で耐震スリット補強¹により少しだけ I_s 値を上げる工事を実施している。(費用：約 200 万円)



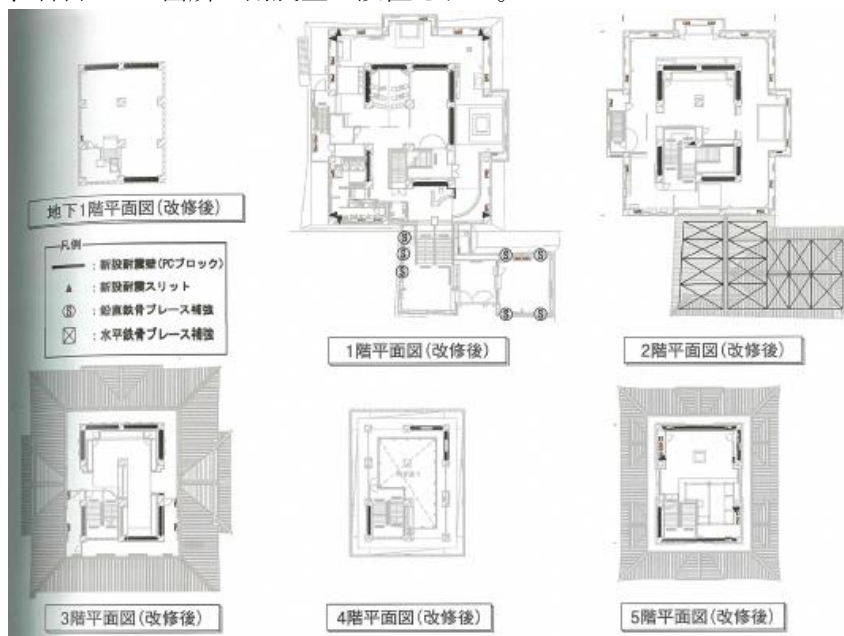
耐震ブロック工法



耐震スリット補強

(『令和 2 年度 小田原城天守閣復興 60 周年記念特別展 復興 小田原城天守閣—昭和から平成・令和へ—』より)

小田原城天守閣では、各階 2～3 箇所以外の開口部を除き、天守閣を支える 12 本の柱の柱間に、合計で 32 箇所の耐震壁が設置された。



耐震壁設置位置

(『令和 2 年度 小田原城天守閣復興 60 周年記念特別展 復興 小田原城天守閣—昭和から平成・令和へ—』より)

¹ 耐震スリット補強：柱と壁の間に細い切り込みを入れて隙間を作り、柱に遊びを持たせることで建物の倒壊を防ぐ工法。

耐震補強の結果、天守閣の I_s 値は 0.71~0.93 となり、これまでに比べて耐震性が格段に向上している。



※公共施設として求められる I_s 値は、0.6 以上。

■耐震改修工事に併せた整備

<展示に関する整備>

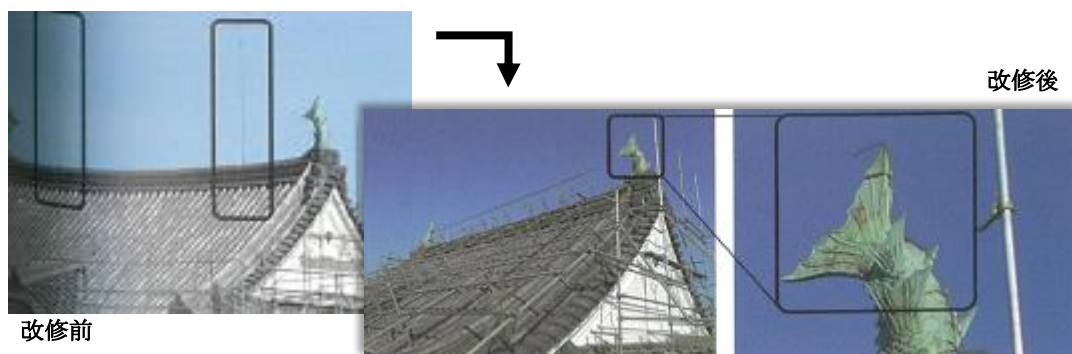
- ・エアタイトケース（湿度を一定に保つ展示ケース）の導入
- ・空調の導入

<景観に関する整備>

- ・避雷針設備の改修（景観配慮）
- ・外壁に破損部の補修と漆喰系塗料による全面塗り直し
- ・天守台石垣の下に植えられていた木々の移植

<安全性に関する整備>

- ・瓦の全面的な点検
- ・破損品の交換や銅線による留め直し



避雷針整備の更新

（『令和2年度 小田原城天守閣復興60周年記念特別展 復興 小田原城天守閣—昭和から平成・令和へ—』より）

【参考資料】

- ・小田原城天守閣, 2017/3/25, 『平成 28 年度 小田原城天守閣 特別展 小田原城址の 150 年 モダン・オダワラ・キャッスル 1868-2017』
- ・小田原城天守閣, 2020/11/21, 『令和 2 年度 小田原城天守閣復興 60 周年記念特別展 復興 小田原城天守閣－昭和から平成・令和へ－』
- ・小田原城天守閣, 2016/10/31, 『小田原城天守閣展示案内』
- ・小田原市教育委員会, 2021/3/31, 『史跡小田原城跡保存活用計画』
- ・小田原城公式 HP, <https://odawaracastle.com/>, (2021/12/23 最終閲覧)
- ・「小田原の年間行事」一般社団法人 小田原市観光協会 HP, <https://www.odawara-kankou.com/event/eventyear/>, (2021/12/23 最終閲覧)
- ・「耐震補強工事の方法 2 「スリット補強」」株式会社耐震設計 HP, <https://taishinsekkei.com/info/taishinhokyo-slit/>, (2021/12/23 最終閲覧)